

牛の異常産の発生を予防しましょう！

吸血昆虫が媒介する感染症の中には、流死産や奇形、虚弱子牛の産出等の集団発生をもたらすものがあります。

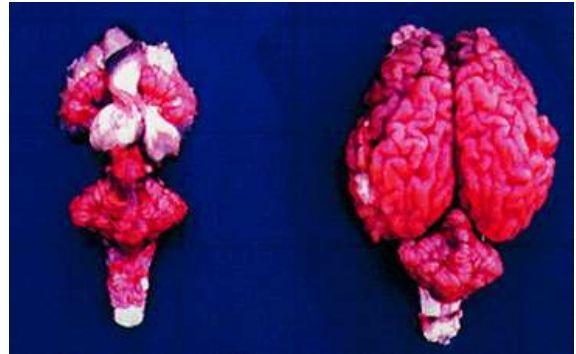
吸血昆虫が発生する前にワクチンを接種して、異常産の発生を防止しましょう。

牛に異常産をもたらす感染症

- 種類：アカバネ病、チュウザン病、アイノウイルス感染症等が知られており、近年はピートンウイルスが原因と考えられる異常産が報告されています。
- 感染経路：ヌカカ等の吸血昆虫が媒介します。
- 症状：母牛の感染時期により流産、胎児の体型異常等の奇形、死産等が見られ、体型異常があった場合には難産になることもあります。
アカバネ病では、ウイルスが子牛や育成牛に生後感染すると、重篤な脳脊髄炎を発症することがあります。
- 予防法：ワクチン接種による予防が効果的です。



体型異常(ピートンウイルス感染症)



左: 大脳欠損(アカバネ病) 右: 正常

【異常産防止ワクチンの種類】

	アカバネ病	チュウザン病	アイノウイルス 感染症	ピートンウイルス 感染症	農家手数料
アカバネ病ワクチン	○	×	×	×	1,300円
3種混合ワクチン	○	○	○	×	1,850円
4種混合ワクチン	○(生後感染にも有効)	○	○	○	2,200円

H30.4月
新規追加

- * 3種及び4種混合ワクチン: 初めて投与する牛は2回接種が必要です。
- * ワクチン接種は(公社)京都府家畜畜産物衛生指導協会が実施します。
- * 詳しくは家畜保健衛生所にお問い合わせ下さい。

京都府中丹家畜保健衛生所

福知山市字半田371-2

TEL0773-25-1860 (休日・夜間は転送されます)